

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ

持続可能な
インパクトを
生み出そう

2026～2027 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「原点回帰

みんなで楽しもう」



例会日：毎週木曜日 18 時 30 分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会 長：土屋 敏幸

副会長：喜久生 明男

幹 事：大藪 太

会 報：藤村 勇太

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

前例会の記録 第 2219 回

2026 年 8 月 6 日

「C,A 新年度活動方針」

担 当 会長・幹事

本日のプログラム 第 2220 回例会 2026 年 8 月 20 日

「クラブアッセンブリー新年度活動方針」 担 当：会長・幹事

ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱・・・③

*会長あいさつ 土屋 敏幸 会長



前回は熊本地震の話をしました
が、今回もまた大きな災害が起
きてしまいました。千葉豪雨です。
8/18(火)14時17時点での情
報で、死者13人・浸水2300棟
超・放置車両 600 台と書いてあ
りました。台風が東から西へと上
陸したり、今、一体何が起きてい

るのでしょうか？地球温暖化が原因なのは明らかです
が、世界の動きは逆行しているとしか思えません。この
ままでは、取り返しのつかない結果になってしまうので

はないでしょうか。とは言え、私たちの力では何ともなら
ないのが実情です。しかし諦めたら終わりですので、小
さくとも声を上げ続けなければと思います。

また余談ですが、今回は水災担保の損害保険について
お話します。火災保険の場合、建物の場合は、建物評価
額・家財の場合は、再調達価格の30%以上の損害が発
生した場合、または床上浸水・もしくは地盤面より45cm
を超える浸水を被り保険の対象に損害が発生した場合
に支払われます。残念ながら、床下浸水(地盤面より45
cm以下)の場合は対象外となります。今回は自動車の損
害もかなり多いので、自動車車両保険金の支払いも莫
大な金額になることが予想されます。ここ数年、火災・自
動車保険料とも料率改定により、毎年のように高くなっ

てきています。しかし、私も生活がかかっているのも、めげずに頑張るしかありません。

最近、目もどんどん悪くなり、右目の眼球に注射を打つことになりました。いろんなことで大分落ち込んでいますが、なるようにしかならないので、残り少ない人生を笑い飛ばして生きていこうと思います。

*7月度 I・G・M 報告 レポーター 栗山守会員

7月30日(木)午後6時半より9時まで、会場はかぐらで、



出席者は、カウンセラー 喜久生明男副会長
R 情報委員 森敬委員
会長 土屋敏幸会長
幹事 大藪太幹事
世話係 藤村勇太会員
レポーター 栗山守会員の6名で開催されました。

内容として、話題のきっかけづくりとして、カウンセラーである喜久生さんから、クラブについての思いを語っていただき、その後は、話がいろいろな方向に飛びながらも、楽しい時間を持ちました。レポーターとしては、料理が多く、食べるのに忙しかったことで、メモが十分に取れていませんでしたので、まとまらない面がありますが、ご容赦ください。

クラブの姿として

・先ずは、会員相互の親睦を深め合い、楽しいクラブであること。次に、社会奉仕。

・ロータリーは楽しむところ、新しい出会いの場。

・行政ではできないことを民間(ロータリークラブ)の力で実施。

・こどものための支援活動

そのために、どんな活動があるといいか。

例えば、カラオケ・麻雀・野球など、会員同士が一緒になって楽しめる活動があってもよいのではないかな。

役に着くのが重荷になったり、やらされる感が強くなったりすることで、退会を考えることが無いように、出られるときに出ていただければ良いのではないかな。

例会の席を、みんなの顔を見ながら話が出来るように、机の配置を変える。

・50周年のテーマについて

今期の会長のテーマが「原点回帰」

・基金について

「こども未来基金」・・・子ども達の未来を支え、青少年育成事業やひとり親家庭支援を継続・発展させる基盤となる。活動基金確保に向けての対策として、ニコボックス以外の基金箱を創設してはどうか。使用目的を今、決めるのではなく、今後の活動等を考慮し、これから協議を進めていってはどうか。

・今年の IM は乗り合わせて

・余談で、プロ野球の話で、涙を流しながら会長が挨拶をされたことが話題になりました。

*本日のプログラム

「C,A 新年度活動方針」 担当:会長・幹事

会場監督・国際青少年交換委員 高井良祐委員長



会場監督委員会

基本方針

毎週の例会の進行役として、例会が和やかな中にも秩序ある雰囲気作りに努める。

事業計画

1, 会長・幹事及び各担当委員会と連絡を取り合い、例会の円滑な運営に努める。

2, 出席者数を把握し、例会食の無駄をなくす。

3, 来賓及び、来訪者に対して、感謝・歓迎の心で接待に努める。

4, 例会当日の会場設営を点検し、例会の進行に万全を図る。

5, 例会中の私語や、秩序を乱す行為等に注意し、例会の風紀を維持する。

国際青少年交換委員会

基本方針

青少年交換プログラムは、国際理解と親善の精神を育み、平和を推進するため15～19 歳の青少年に外国での異文化に接し言語や文化を学びながら、海外に友人を作り、世界市民としての自覚を養う機会を体験してもらう。

事業計画

1, 派遣学生の選考については、会員の子弟及び市内の3高等学校に希望者を募る。

2, 受入学生には、ロータリークラブ及び学校、地域の行事に積極的に参加してもらい、クラブの例会にて、毎月1回のスピーチをしてもらう。

3, クラブの会員には、この国際青少年交換プログラムに積極的に関わってもらい、多くの会員にホストを経験してもらい家族や地域との交流を深めてもらう。

クラブ会報・雑誌・広報委員 藤田勇太委員長



クラブ会報委員会

基本方針

会報を作成し、会員へのメール等で送信する。例会を欠席された会員にも例会の内容がわかるように、出席した会員には内容の再確認ができる内容とし、情報を共有することで、

会員相互の親睦を深められるようにする。

事業計画

- 1, 例会毎に配布を行う
- 2, 例会の雰囲気が分かるような写真を挿入する。
- 3, 他の例会、情報誌などを参考に、より良い会報の構成を検討する。
- 4, 委員が交代で写真撮影や、記録係を担当する。

雑誌・広報委員会

「ロータリーの友」や公式雑誌を配布し、世界と日本におけるロータリークラブの活動状況や情報知識を提供し、会員としての意識の高揚に努める。

事業計画

- 1, 「ロータリーの友」、「ガバナー月信」及び「会報」を会員に配布する。
- 2, 当クラブの奉仕プロジェクトや活動内容を事前にマスコミ等に伝え、ロータリークラブの活動を積極的にPRする。
- 3, 定期的にホームページを更新する。



会員基盤増強維持・職業分類・

会員選考・インターアクト委員 吉田和也委員長



会員基盤増強維持委員会

基本方針

健全なクラブ運営のために、会員増強は重要です。クラブの活性化、地域社会への貢献のために、全会員一丸となって、会員増強に努めます。

事業計画

- 1, オープン例会を開催し、入会希望者に例会への参加をよびかける。
- 2, 女性会員、家族会員の入会を勧める。
- 3, 会員全員で、新規加入者等の情報を共有して、増強に努める。

職業分類委員会

基本方針

クラブ会員構成を多様な職業分類からバランスよく集め、クラブの活動を活性化させ、地域社会への貢献をより効果的に行うための基盤となる。

事業計画

会員基盤増強委員会と連携して、未充填の職業に就いている適切な人物を推薦する。

会員選考委員会

基本方針

会員候補者の人格、職業上の地位、地域社会での評判、ロータリーの理念への理解、例会や活動への参加意欲などを総合的に評価する。

事業計画

ロータリアンとしてふさわしい倫理観を持っているか、事業や専門職において信頼と尊敬を得ているか、地域社会や国際社会への奉仕に関心があるかを確認する。

インターアクト委員会

基本方針

関商エインターアクトクラブを支援し、社会奉仕活動、国際奉仕活動、環境保全、国際交流活動への積極的な参加を推進する。

事業計画

- 1, インターアクト年次大会
- 2, 岐阜県インターアクト飛騨・中濃・東海グループ協議

会

3, 森林整備例会・・・関市迫間ふどうの森広場周辺にて
里山整備活動

4, 長良川流域一斉環境調査・・・小瀬川①自然調査②
水質調査③透明度調査

5, 台湾景文高校との交流事業

親睦活動委員 石原妙生委員長



基本方針

「ロータリー」まずは親睦から！親睦は、奉仕活動を行う大切なエネルギーです。例会や、活動を通じて会員間の親睦を図れる様な楽しい企画をする。

事業計画

1, 会員相互の親睦を深めるための例会場でのサポート。

2, 年間事業計画

・通常総会懇親会

・年次総会懇親会

・クリスマス例会

・新春例会

・地区大会参加・親睦旅行

3, 夫人誕生日のお祝い

今年度よりお祝いの品から、バースデイカードに変更
楽しい企画・身体的には音楽の生演奏会や持ち出し食
事例会、また会員による趣味や特技の披露等、何か楽
しいことが出来れば良いと考えています。

こども未来基金委員(ロータリー財団委員)

川上勉委員長



今年度の総会にて、土屋会
長の方から、50周年記念事
業として、こども未来基金を
創設する旨の発言があり、岐
阜新聞・中日新聞でも大きく
掲載されました。このことを受
け、今年度のロータリー財団
委員会は、こども未来基金委

員と自覚し活動をいたします

基本方針

1, こども未来基金・ポリオ基金への寄付の推進

2, 関市内ひとり親家庭の支援・関商工と台湾景文高校
との交流支援。

3, 一人当たり\$30のポリオ撲滅活動の推進

4, 財団補助金の活用を行わない代わりに、(関中央
RC ロータリー財団に関する規約より)入会5年までに、
ポールハリス・フェロー(積立\$900)を申請。入会10年
毎にマルチプル・フェロー及び、ベネファクター(会員本
人の積立\$1000に達した時点)を申請。

事業計画

1, すべての会員が、1ヶ月2,000円相当の年次寄付と
\$30以上の「ポリオ・プラス」寄付を行う。

また、各団体・企業・個人による寄付は、順次受付を行
い、岐阜新聞・中日新聞に掲載する。事業ごとの寄付も
受け付ける。

2, こども未来基金を利用した活動を担当委員会(国際
委員会・社会奉仕委員会・青少年委員会)と協力し計
画・実施する。

3, ロータリーカード未加入者に加入を推進する。

米山記念奨学委員 前田仁夫委員長



基本方針

公益財団法人ロータリー米
山記念奨学会(日本のロータ
リークラブのみで運営する)
は、日本の民間で最大規模
を誇る事業を理解し、全会員
が、自主的な寄付や、協力が
出来るように支援する。

事業計画

1, 米山の受入奨学生を支援し、交流を深め、卓話など
計画する。

2, 毎年均等割の全員寄付(1人2千円×2回×会員数)
とは、別に会員が喜んで米山記念奨学に寄付できる啓
蒙活動をする。

3, 寄付方法は、①会員の個人寄付②会員の法人の寄
付③クラブの寄付(クラブ創立〇〇年等の寄付など)①
②③のすべて寄付には積立方式で制限はない。また、1
回でまとめたの寄付もある。米山のような公益財団法

人への寄付は、税金の控除がある。

4, 静岡県長泉町にある、米山の聖地・米山記念館にて、クラブ全会員が参加して行き、一層の認識を深めることも良策である。

5, 寄付の詳細等は、米山の担当者または、事務局まで。

***出席委員会**

会員数 21 名、本日の出席 14 名です。

***ニコボックス委員会**

14 ポイントのご投函ありがとうございました。

***その他の委員会報告**

***幹事報告**

<次例会の案内>

第 2221 回 9 月 3 日（木）

卓話

「都市計画区域・都市計画税について」

担当：職業奉仕

